

第六次総合計画 施策評価シート(令和元年度)

1-10

施策

一人一人が生涯を通して行う学習を支援するとともに、生涯学習による地域の活性化を推

担当部局

教育委員会, 企画財政局, 保健福祉局

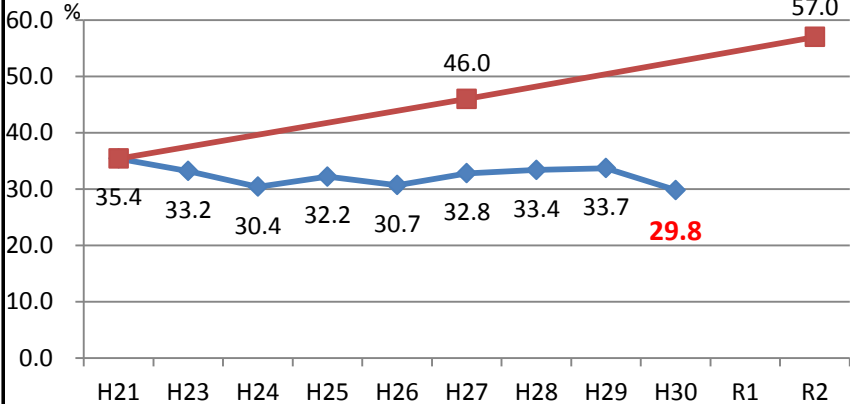


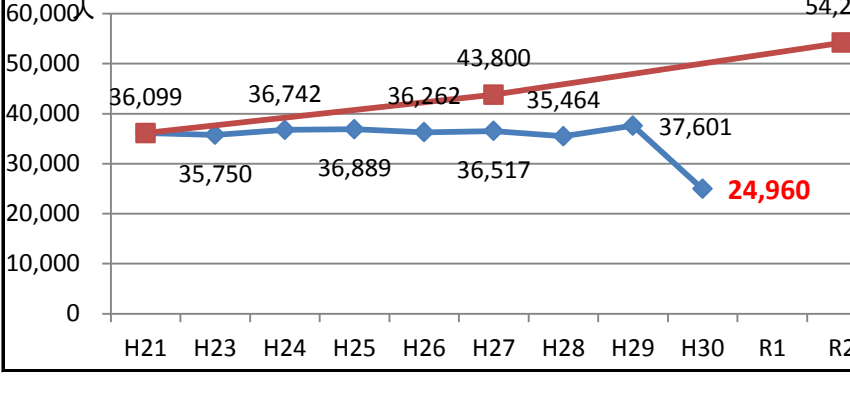
【豊 か】めざすまちの姿 だれもが興味があることを、気軽に学べている

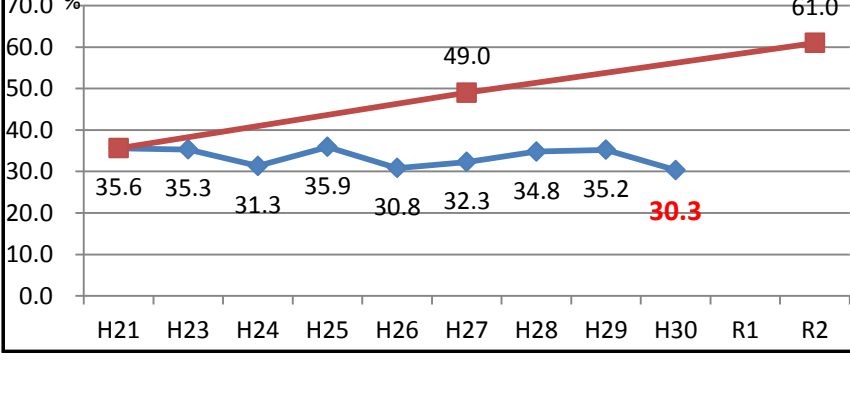
市の基本方針

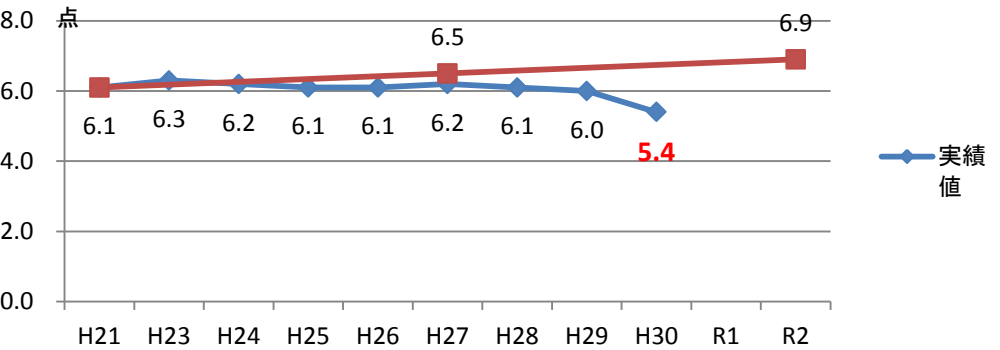
- あらゆる世代のニーズに対応した学習機会を提供するとともに、情報提供の充実に努めます。
- 学習や地域づくりの拠点となるよう、また、多くの市民が利用しやすいように施設機能の充実に努めます。
- 多様化する市民ニーズの把握に努め、求められる知識や技能を習得する講座を企画するとともに、学習した成果を地域で生かせるような仕組みづくりを進めます。
- 大学などの高等教育機関や企業、民間団体など、多様な主体と連携した生涯学習を推進します。

数値目標

まちづくり指標		目指す方向性	算出方法																																				
自分が参加したいと思う講座や活動があると思う人の割合			市民アンケート調査で「公民館やライフパーク倉敷などに自分が参加したいと思う講座や活動がありますか。」という設問に対して、『十分ある』『まあまあある』回答した人の割合。																																				
 <table border="1"><thead><tr><th>年次</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H21</td><td>35.4</td><td>35.4</td></tr><tr><td>H23</td><td>33.2</td><td>37.0</td></tr><tr><td>H24</td><td>30.4</td><td>38.0</td></tr><tr><td>H25</td><td>32.2</td><td>39.0</td></tr><tr><td>H26</td><td>30.7</td><td>40.0</td></tr><tr><td>H27</td><td>32.8</td><td>46.0</td></tr><tr><td>H28</td><td>33.4</td><td>48.0</td></tr><tr><td>H29</td><td>33.7</td><td>50.0</td></tr><tr><td>H30</td><td>29.8</td><td>52.0</td></tr><tr><td>R1</td><td></td><td>54.0</td></tr><tr><td>R2</td><td></td><td>57.0</td></tr></tbody></table>		年次	実績値 (%)	目標値 (%)	H21	35.4	35.4	H23	33.2	37.0	H24	30.4	38.0	H25	32.2	39.0	H26	30.7	40.0	H27	32.8	46.0	H28	33.4	48.0	H29	33.7	50.0	H30	29.8	52.0	R1		54.0	R2		57.0		動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ) (Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、5.6ポイント下がり、前年度に比べ、3.9ポイント下がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P11】 (Ⅱ) 内容は、「あまりない」「まったくない」が合計で40.1%、「わからない」が28.4%であった。なお、20歳代、30歳代では4割を超える人が、40歳代以上では、3割近くの人が「わからない」と回答している。 (Ⅲ) 就労している年齢層は時間的余裕が持ちにくく、参加できる時間帯が限られている。又情報過多の時代であり、余暇の過ごし方の選択肢も多いため、若い世代の興味関心を引くことができないことが目標値を下回る要因であると考えられる。
年次	実績値 (%)	目標値 (%)																																					
H21	35.4	35.4																																					
H23	33.2	37.0																																					
H24	30.4	38.0																																					
H25	32.2	39.0																																					
H26	30.7	40.0																																					
H27	32.8	46.0																																					
H28	33.4	48.0																																					
H29	33.7	50.0																																					
H30	29.8	52.0																																					
R1		54.0																																					
R2		57.0																																					

まちづくり指標		目指す方向性	算出方法																																				
公民館、図書館等で開催される生涯学習講座への参加者数(人／年度)			市民学習センター(視聴覚業務含む)、基幹・地区公民館、図書館で開催される生涯学習講座受講者数																																				
 <table border="1"><thead><tr><th>年次</th><th>実績値 (人)</th><th>目標値 (人)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H21</td><td>36,099</td><td>36,099</td></tr><tr><td>H23</td><td>35,750</td><td>37,000</td></tr><tr><td>H24</td><td>36,742</td><td>38,000</td></tr><tr><td>H25</td><td>36,889</td><td>39,000</td></tr><tr><td>H26</td><td>36,262</td><td>40,000</td></tr><tr><td>H27</td><td>36,517</td><td>43,800</td></tr><tr><td>H28</td><td>35,464</td><td>45,000</td></tr><tr><td>H29</td><td>37,601</td><td>47,000</td></tr><tr><td>H30</td><td>24,960</td><td>49,000</td></tr><tr><td>R1</td><td></td><td>51,000</td></tr><tr><td>R2</td><td></td><td>54,200</td></tr></tbody></table>		年次	実績値 (人)	目標値 (人)	H21	36,099	36,099	H23	35,750	37,000	H24	36,742	38,000	H25	36,889	39,000	H26	36,262	40,000	H27	36,517	43,800	H28	35,464	45,000	H29	37,601	47,000	H30	24,960	49,000	R1		51,000	R2		54,200		動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ) (Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、11,139人減り、前年度に比べ、12,641人減った。 (Ⅱ) 内訳は、市民学習センター・公民館での講座が、前年度に比べ9,281人減少し10,699人、図書館での講座が、前年度に比べ3,360人減少し14,261人であった。 (Ⅲ) 市の他部局などと連携し、地域課題の理解や解決につながる講座を予定していたが、西日本豪雨災害の復旧対応で7月上旬からの講座を中止したため、実績値は前年を大きく下回る結果につながった。
年次	実績値 (人)	目標値 (人)																																					
H21	36,099	36,099																																					
H23	35,750	37,000																																					
H24	36,742	38,000																																					
H25	36,889	39,000																																					
H26	36,262	40,000																																					
H27	36,517	43,800																																					
H28	35,464	45,000																																					
H29	37,601	47,000																																					
H30	24,960	49,000																																					
R1		51,000																																					
R2		54,200																																					

まちづくり指標		目指す方向性	算出方法																																				
生涯学習講座の情報を知りたいときに、簡単に入手できていると思っている人の割合			市民アンケート調査で「生涯学習講座の情報を知りたいときに、簡単に入手することができますか。」という設問に対して、『できている』『どちらかというのできている』と回答した人の割合。																																				
 <table border="1"><thead><tr><th>年次</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H21</td><td>35.6</td><td>35.6</td></tr><tr><td>H23</td><td>35.3</td><td>37.0</td></tr><tr><td>H24</td><td>31.3</td><td>38.0</td></tr><tr><td>H25</td><td>35.9</td><td>39.0</td></tr><tr><td>H26</td><td>30.8</td><td>40.0</td></tr><tr><td>H27</td><td>32.3</td><td>49.0</td></tr><tr><td>H28</td><td>34.8</td><td>51.0</td></tr><tr><td>H29</td><td>35.2</td><td>53.0</td></tr><tr><td>H30</td><td>30.3</td><td>55.0</td></tr><tr><td>R1</td><td></td><td>57.0</td></tr><tr><td>R2</td><td></td><td>61.0</td></tr></tbody></table>		年次	実績値 (%)	目標値 (%)	H21	35.6	35.6	H23	35.3	37.0	H24	31.3	38.0	H25	35.9	39.0	H26	30.8	40.0	H27	32.3	49.0	H28	34.8	51.0	H29	35.2	53.0	H30	30.3	55.0	R1		57.0	R2		61.0		動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ) (Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、5.3ポイント下がり、前年度に比べ、4.9ポイント下がった。 【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P12】 (Ⅱ) 「できている」「どちらかというのできている」と答えた人の割合を見ると、60歳代が高く、20歳代が低くなっている。 (Ⅲ) 60歳代で高くなっているのは、時間的余裕があり生涯学習講座への関心が高いためと考えられる。
年次	実績値 (%)	目標値 (%)																																					
H21	35.6	35.6																																					
H23	35.3	37.0																																					
H24	31.3	38.0																																					
H25	35.9	39.0																																					
H26	30.8	40.0																																					
H27	32.3	49.0																																					
H28	34.8	51.0																																					
H29	35.2	53.0																																					
H30	30.3	55.0																																					
R1		57.0																																					
R2		61.0																																					

まちづくり指標	目指す方向性	算出方法
市民一人当たりの市立図書館の貸出数(点／年度)		図書の年間貸出点数／市の人口 ※図書(視聴覚・雑誌を含む)の年間貸出点数(団体を含む)とは、中央・水島・児島・玉島・船穂・真備の図書館(ライフパークを除く)、移動図書館、公民館図書室の総貸出点数
		動向(Ⅰ)／内訳(Ⅱ)／分析(Ⅲ) (Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、0.7点下がり、前年度に比べ、0.6点下がった。 (Ⅱ) 全館の平成29年度の貸出数は2,911,817点、平成30年度の貸出数は2,595,482点と、316,335点減少している。 (Ⅲ) 平成30年度は真備図書館被災による休館と、その他5館の臨時休館および業務縮小により貸出数が大幅に減少した。

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／平成30年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	H30年度決算額(千円)
	生涯学習推進事業	(Ⅰ) 市民の自主的な学習活動に対する支援と市政に関する理解・意識啓発を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 市の行政活動を分かりやすく伝えるため市職員が地域に出向く出前講座を実施した。4月に広報のためパンフレットを作成し、全戸配布した。延べ896講座を開講し、40,846人の参加があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	894
創	子どもセンター事業(再掲)	(Ⅰ) 児童が安心して安全に過ごせる居場所を提供し、遊びを通じて、児童の健康を増進することを目的に、情報誌の発行及びイベントを実施した。 (Ⅱ) 情報誌「パワフルキッズ」を年4回発行し、各種イベント情報の周知に努めるとともに、親子で楽しめるイベントを年5回実施した。約745人の親子が参加し、親子のふれあいを深めることができた。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,696
	子育て広場開設事業(再掲)	(Ⅰ) 子育ての不安や悩みを解消し、楽しく子育てできることを目的に、就園前の乳幼児とその保護者を対象とした「子育て広場」を開設した。 (Ⅱ) 幼稚園等10カ所で開設。267回実施し、延べ7,746人の親子が参加した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,921
	青少年健全育成団体支援事業	(Ⅰ) 地域で青少年健全育成活動を行っている「青少年を育てる会」の活動を支援することを目的に実施した。 (Ⅱ) 「青少年を育てる会」が実施する青少年健全育成事業や家庭教育推進事業に要する経費に対し、補助金を交付した。各中学校区で実施する家庭教育講演会には、24,943人が参加した。また、倉敷市青少年を育てる会指導者・少年補導委員合同研修会を実施し、269人が参加した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	10,119
重創	地域連携による学校支援事業(再掲)	(Ⅰ) 地域全体で学校教育を支援する体制を整え、生涯学習の成果を活かした地域住民による学校支援活動を推進することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域の教育力の活性化を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 小学校区39カ所、中学校区18カ所、支援学校区1カ所で事業を実施した。ボランティア登録人数は5,816人、延べ194,576人のボランティアが学習支援や環境整備、地域活動などの学校支援活動に参加した。 (Ⅲ) 実施校拡大を図りながら継続して実施する。	34,441
	図書館図書購入事業	(Ⅰ) 生涯学習拠点として市民の多角的な学習への支援や課題解決を図るため、また、誰もが読書活動を楽しむため、組織的に資料を収集することを目的として実施した。 (Ⅱ) 収集基本方針に基づき、図書館全体で一般書31,823冊、児童書11,731冊を購入した。なお、子育て支援、農業・ビジネス支援のほか闘病記コーナーや高齢者のための資料の充実に努めた。 (Ⅲ) 令和元年度も継続して子育て支援、ビジネス支援等の資料充実に努める。また社会情勢や市民ニーズに合った図書を購入する。	84,025
	生涯学習活動推進事業	(Ⅰ) 市民の多様な学習ニーズに対応した講座の開催や、地域・社会が抱えるさまざまな課題の解決へのきっかけとなるような学習機会の提供を目的として実施した。 (Ⅱ) 市民学習センター及び公民館では、生涯学習講座を463講座実施し、受講者数は10,699人であった。平成30年7月豪雨災害の復旧対応により、7月以降の講座を中止したため、開講実績、受講者数は減少した。市民学習センターでは、くらしき市民講座の充実に図り、公民館では地域ごとの課題解決の講座を企画するなど、趣味的要素の濃い内容から地域課題の理解や解決につながるような内容の講座へ移行を行った。 (Ⅲ) 今まで以上に、地域が抱えている課題を解決できるように講座内容のさらなる充実に図りながら、講座等で学んだ知識を地域へ還元できる仕組みづくりを考え、継続して実施する。	244,803
	宇宙劇場運営事業	(Ⅰ) 科学及び科学技術の知識の普及・啓発を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) プラネタリウム、全天周映画の一般投映、学習投映(主に学校団体)を行い、35,528人が観覧した。また科学センター全体の年間利用者数は、改修工事のため宇宙劇場を約7カ月休演した影響で、前年度より33,591人少ない145,565人であった。 (Ⅲ) リニューアルした最新のプラネタリウムの機能を活かしつつ、時流の科学や天文の話題をうまくとらえた番組作りを行い、継続して実施する。	33,494
都	プラネタリウム更新事業	(Ⅰ) 平成5年の開館以来一度も更新していなかった、宇宙劇場プラネタリウムの全面改修を実施した。 (Ⅱ) 平成30年9月から改修工事を実施し、平成31年3月27日リニューアルオープンした。 (Ⅲ) リニューアルオープンをもって事業完了	479,952
	生涯学習環境整備事業	(Ⅰ) 市民の生涯学習実践ニーズに応えるため、トイレの洋式化など、必要な施設・設備の整備を行う。 (Ⅱ) 倉敷北公民館ほか4館のトイレ洋式化を行った。また水島公民館空調機や新田公民館ガスコンロの更新などを実施した。 (Ⅲ) 今後も引き続き、市民にとってより利便性の高い施設になるよう、施設・設備の整備を行っていく。	7,947

区分	事業名	目的(Ⅰ)／平成30年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	H30年度 決算額 (千円)
	ネットワーク・システム整備事業	(Ⅰ) 学校園と生涯学習施設, 教育委員会におけるネットワーク(校務用・教育用・図書館用)やそれを利用して使用する各システム(教育用システム・学校園事務ネットワークシステム・総合情報配信システム・図書館システム等)の整備と保守を行い, セキュリティ確保および業務の安定稼働に努める。 (Ⅱ) 教育委員会が管理するネットワーク及びシステムが安全な環境で安定的に業務ができるように, 運用支援と保守を行った。 (Ⅲ) セキュリティの高い環境で安定した業務が行えるよう, 継続して実施する。	140,327
	地(知)の拠点大学との連携による学校支援事業	(Ⅰ) 地(知)の拠点整備事業に取り組む大学と連携協力して地域の魅力発信事業を行うことで, 教員と学生の資質・能力の向上及び地域活性化の実現を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 倉敷芸術科学大学と連携し, 高梁川流域連盟ホームページの各種コンテンツの作成や動作環境を改善した。また, くらしき作陽大学と連携し, 美術館でウエルカムコンサートを実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	—
公創	高梁川流域大学連携講座推進事業	(Ⅰ) 市内の大学等の有する知的財産を地域の活性化に役立て, 大学と連携した生涯学習の推進を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 26講座を開催。延べ498人の参加があった。平成30年度は豪雨災害の影響により6講座を中止した。 (Ⅲ) 各大学等の特色と専門性を生かし, テーマの選定や開催場所, 情報提供の方法等を工夫するほか, 受講対象者を高梁川流域(7市3町)に継続して拡大し, 高梁川流域連携中枢都市圏事業の一つとして実施する。	3,207
公創	高梁川流域学校事業	(Ⅰ) 高梁川流域7市3町の大学・企業・各種団体等によるネットワーク組織によって, 流域の自然, 歴史・文化, 産業, 町並み等をテーマとした学校教育の補完や企業研修等を実施。圏域の将来を担う人材育成とコミュニティの意識向上を図る。 (Ⅱ) 倉敷市を含む高梁川流域圏域において計13事業を実施し, 約3,000人が参加した。主な取組として, 備中の伝統文化の発信と人材育成, 後世への継承を目的とした「備中志塾」のほか, 風土ツーリズムの開発等を行う「高梁川トレイル」, 希少種生物の保護及び自然生命の循環を学習する「SAVEJAPANプロジェクト」などを実施した。 (Ⅲ) 引き続き, 圏域の人材育成とコミュニティの意識向上に資する取組を実施する。	6,116
公創	高梁川流域パスポート事業	(Ⅰ) 高梁川流域7市3町の小学生が, 郷土の文化に親しむとともに, 流域全体を郷土ととらえる視点をもてることを目的に, 高梁川流域パスポートを作成し配布した。 (Ⅱ) 流域パスポートを提示することにより, 社会教育施設64カ所で, 土曜日・日曜日・国民の祝日及び振替休日の入館料が免除になるようにした。また, スタンプラリーを実施し, 利用拡大を図った。7市3町の小学生3,858人が利用した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	833
公創	高梁川流域マップ事業	(Ⅰ) 高梁川流域連盟のホームページに圏域の文化施設や自然に関する情報等を掲載することで, 地域住民が郷土への愛着心を持ち, 流域の連帯感を醸成するとともに流域内外の交流を促進することを目的として実施した。 (Ⅱ) 高梁川流域連盟のホームページ, キッズサイト内に流域圏域の「指定文化財『建造物』」に関する情報を特集ページとして載せ, 建造物の所在地を流域マップ上にも表示した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,777
公創	高梁川流域クリーン一斉行動事業	(Ⅰ) 高梁川本来の清流を取り戻すため, 高梁川流域圏域内の市町で一斉に清掃活動を実施した。 (Ⅱ) 平成30年11月25日の同一開催を目標に6市3町で計画したが, 浅口市・笠岡市は台風により, 高梁市・倉敷市は平成30年7月豪雨の影響により中止となり, 2市3町で実施し, 10,395人が参加した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	33
公創	高梁川流域図書館相互利用推進事業	(Ⅰ) 図書館の利便性向上及び圏域の文化発展に資することを目的として, 高梁川流域圏域7市3町の全ての公立図書館で図書などの貸出・返却の相互利用サービスを実施した。 (Ⅱ) 平成30年度の本市図書館の利用実績は, 本市以外からの利用者延べ1,612人, 貸出冊数延べ5,470冊であった。圏域全体では, 当該市(町)外からの利用者延べ24,151人, 貸出冊数延べ109,361冊となっている。 (Ⅲ) 圏域全体の利用は着実に伸びており, 継続して実施する。	1,303
公創	高梁川流域学びなおし支援事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏内の15歳から39歳までの方を対象として, 自発的に社会とつながりを持ち, 就労等へと結び付けられるようカウンセリング・学習支援・居場所の提供を実施する。 (Ⅱ) くらしきシティプラザ西ビル5階に開設した「まなびbippo(いっぽ)」で実施。男女44人の利用登録があった(うち, 倉敷市在住者は30人)。カウンセリングに延べ298人(家族含), 学習支援に延べ231人, 居場所に延べ180人の利用があった。 (Ⅲ) 継続して実施する。	8,314
	図書館システム更新事業	(Ⅰ) 図書館システムと業務用機器の老朽化に伴い, 市民サービスの向上と安定した業務運用を維持するために実施した。 (Ⅱ) プロポーザルにより4月～6月で業者選定を行い, 事業者決定後にシステムの構築準備を開始し, 平成31年3月に新システムを稼働した。(事業費:244,983千円/6年リース総額) (Ⅲ) 更新事業は平成30年度で完了した。今後は, 安定した業務が行えるよう関連部署と連携し, 運用支援を継続して実施する。	3,403
	自然史博物館調査研究, 標本・文献等収集, 展示, 特別展事業(再掲)	(Ⅰ) 市民の教養文化の向上に寄与することを目的として, 自然に関する資料の収集, 保管, 調査研究をするとともに, その成果を展示する。 (Ⅱ) 主な実績は以下のとおり。 1 調査研究事業…研究報告34号の発行。専門誌等への寄稿105件。 2 標本・文献等収集保管事業…標本等約82,000点, 文献等1,629点の受入れ。脊椎動物グループ(標本作製ボランティア)の活動支援。 3 展示事業…「新着資料展」, 「折り紙昆虫展」などを実施。 4 特別展事業…第27回特別展「岡山の野鳥たち ～むかし・いま・みらい～」を開催。観覧者数10,015人。 (Ⅲ) 様々なニーズへの対応を図りつつ, 継続実施する。	4,817

